

## スケジュール

\*時間、内容、講師等は変更することがあります。\*各実習先へのお問合せはお控えください。

### 1日目 見学と実習 8月24日(金)

13:00~ 各施設で所要時間は異なります。

- (1) 京都文化博物館 (6人) サイレントフィルムから DCP まで一映写ワークショップ
- (2) 株式会社 IMAGICA ウェスト (18人) フィルムの現像と保存のための取扱い方法
- (3) 東映京都撮影所、映画文化館 (東映太秦映画村)、松竹撮影所 (20人)  
「時代劇の聖地・太秦」撮影所見学
- (4) 国立民族学博物館 (20人) 『みんぱく』の概要と映像保存施設の見学
- (5) 神戸映画資料館 (10人) 資料館見学と新開地の映画館を訪ねる
- (6) 株式会社吉岡映像 (5人) 小型映画の修復ワークショップと映画ゆかりの近隣北野界限散策
- (7) 関西文化学術研究都市見学会 (10人) けいはんなオープンイノベーションセンター (KICK)、  
国立国会図書館関西館、けいはんなプラザの見学

17:00~18:30 京都文化博物館フィルムシアターでの通常プログラムで、『大魔神』(500円)を上映。



東京現像所での実習作業 (第12回)



神戸映画資料館

### 2日目 講義 8月25日(土) 会場：京都府京都文化博物館フィルムシアター

- 10:15~11:00 受付  
11:00~11:15 開会の挨拶と会場説明  
11:15~12:00 基調講演：「国立映画アーカイブの発足と今後の展望」  
入江良郎 (国立映画アーカイブ学芸課長)  
12:00~12:45 「京都府アーカイブ人材育成事業-映画フィルム復元のデジタル職人を京都から」  
須田建太郎 (京都府商工労働観光部ものづくり振興課)、森脇清隆 (京都文化博物館)  
12:45~13:45 昼休憩  
13:45~14:45 「日本の保存フィルムが危ない! -劣化が進む保存フィルムの現状と今必要な事-」  
権原史隆 (東映ラボ・テック株式会社)  
14:50~15:50 「映画・映像のパブリック・ドメインについて」  
数藤雅彦 (五常法律会計事務所)  
16:00~18:00 映画「まわる映写機めぐる人生」(110分、監督 森田恵子) 完成披露上映  
18:10~18:40 ライトニングトーク (前半)  
19:00~21:00 懇親会 \*希望者のみ、別途4,000円(予定)



入江良郎氏



京都府京都文化博物館フィルムシアター

### 3日目 講義 8月26日(日)

- 10:30~12:00 トークセッション「映像アーキビスト養成の現状共有(関西篇)」  
(日本映像アーキビストの会(仮称)呼びかけ人会)  
12:10~12:40 ライトニングトーク (後半)  
12:40~13:40 昼休憩  
13:40~15:10 「ラボの最新修復技術の報告」  
(株式会社東京現像所、株式会社 IMAGICA、株式会社 IMAGICA ウェスト)  
15:20~16:20 「地域の映像アーカイブの現状と課題」  
原田健一 (新潟大学)、北村順生 (立命館大学)  
16:20~16:50 「『京都ニュース』の保存と活用について」  
太田米男 (京都映画芸術文化研究所、大阪芸術大学)  
17:00~17:35 実習報告会 5分×7か所  
17:40~17:50 閉会の辞



参加者の集合写真(第12回)



THE MUSEUM OF KYOTO

神戸映画資料館  
KOBE PLANET FILM ARCHIVE



一般社団法人  
日本映画テレビ技術協会  
MOTION PICTURE AND TELEVISION  
ENGINEERING SOCIETY OF JAPAN INC.

【申込み期間】

2018年7月20日(金)午前10時~2018年7月31日(火)午後5時

※ただし定員に達し次第締め切らせていただきます。お申込み方法については、下記のURLをご覧ください。

<http://ws13.peatix.com>

【お問い合わせ先】

〒604-8805 京都市中京区壬生馬場町29-1

おもちゃ映画ミュージアム内「映画の復元と保存に関するワークショップ」実行委員会事務局

Tel. 075-803-0033 / Fax. 075-803-0034

担当：090-2936-9800 (三輪)、

090-8881-4689 (太田)

Email: [info@toyfilm-museum.jp](mailto:info@toyfilm-museum.jp)